



2013年3月29日

富士重工業 2013年ニューヨーク国際自動車ショーで 「スバル WRX コンセプト」を世界初公開

富士重工業は、本日、米国ニューヨークで開催中の 2013 年ニューヨーク国際自動車ショーにおいて、「スバル WRX コンセプト」を世界初公開しました。

スバル WRX シリーズは、スバルのコア技術であるスバルボクサーターボエンジンとシンメトリカル AWD システムを搭載したスバルの AWD パフォーマンスモデル。ターボエンジンによるパワフルな動力性能にシンメトリカル AWD による優れたボディバランスやトルクディストリビューションを組み合わせ、あらゆる走行環境においても、ドライバーの意のままに操る愉しさを実現した究極のドライビングマシンです。

スバル WRX コンセプトは、次期インプレッサ WRX シリーズをイメージしたデザインコンセプトカー。WRX ならではの俊敏で操る愉しさを一層高めた、感性に訴えるエキサイティングな走りをデザインで表現しました。



スバル WRX コンセプト

【スバル WRX コンセプトの主な特長】

- フロントデザインは、WRX らしい、奥行き感と立体感を強めたアグレッシブなデザインで安定感のあるたたずまいを表現しました。立体感のあるメッシュパターンを用いてスポーティさを高めたヘキサゴングリル、シャープなヘッドライトは他のスバル車にも共通するモチーフを用いて表現し、一目でスバルと分かる精悍なフロントフェイスをデザインしました。
- フロントバンパーの大きな開口部、エンジンフードスクープ、フェンダーダクトはターボエンジンによるパフォーマンスを予感させます。
- 前に強く張り出したヘキサゴングリルから始まるボディストラクチャーの造形に、左右に大きく張り出したフェンダーを溶け込ませた塊感のあるデザインで WRX が持つ力強いドライビングパフォーマンスを表現しました。

- サイドビューは、ホイールを中心とした造形手法により、コンパクトなキャビンに対しホイールを強調したデザインを採用。フェンダーから始まるエッジの効いたキャラクターラインはクォーターパネルにかけて勢い良く内側に入り込み、キャビンの位置に対しリヤのホイールを外側へ押し出した造形としました。前後ホイールの存在感を高めたデザインで、走りに拘った新しいスバルの AWD パフォーマンスカーを表現しました。
- リヤエンドは、フロントと同じヘキサゴンモチーフを採用し、トランクリッドにもエッジを効かせ、シャープでダイナミックなデザインとしました。
- リヤバンパーはワイドで安定感を強調したデザインとし、空力性能を高めたディフューザー、左右 2 本ずつのテールパイプで迫力あるリヤビューを演出しました。
- ルーフにはカーボンルーフを装着。さらなる軽量化と低重心化により、WRX ならではの卓越したハンドリング性能を一層高めます。
- エクステリアカラーには「WR ブルー・パールⅢ」を採用。また、フロントの WRX バッジ、ブレーキキャリパー、リヤのエギゾーストフィニッシャーのカラーはアクセントとして蛍光イエローとし、WRX コンセプトの個性を演出しました。
- 専用設計されたトレッドパターンを持つダンロップ製 245/40 ZR20 タイヤを装着し、ホイールは BBS 製超超ジュラルミン鍛造 1 ピースホイールの「RI-D」を採用。オンロードパフォーマンスカーとしての魅力を高めました。
- ボディサイズ(全長 X 全幅 X 全高): 4,520 × 1,890 × 1,390 mm、ホイールベース: 2,760 mm
ロー&ワイドなスタンスとシルエットで進化した WRX セダンフォルムを表現しました。

スバルグローバルサイト(<http://www.subaru-global.com/ms2013/ny/>)では、専用サイトを更新し、「スバル WRX コンセプト」の画像をはじめ、プレスカンファレンスの映像等を配信する予定です。